

震災と霊性

— 亡き人の声を感じ、生きるという力 —

あれからまもなく6年目を迎えようとしています。しかし、今もなお復興が日々叫ばれているのが現状です。

復興が“何か”を取り戻せる“何か”だとすれば、

他方で震災は、二度とこの手に取り戻すことができない何かと向き合うということを日々強いられている点にあるのではないのでしょうか。

本シンポジウムでは、亡き人の声を感じ、生きる力の源泉を探索し続ける各分野の方々に報告をいただきます。

映像や文学、インタビューなどを通じ、死者の声に耳を傾けながら、

震災の深奥にある問題を発掘したり、見通しながら確かな眼で霊性を深めることを趣旨として開催いたします。

日時

2月5日(日)

14:00~17:00 (開場13:30)

場所

東北学院大学

ホーイ記念館ホール(地下1階)

※会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

TEL 022-264-6424 [学長室事務課]

入場
無料



鎮魂のキャンドルナイト(石巻市)

シンポジウム

震災と霊性 — 亡き人の声を感じ、生きるという力 —

【パネリスト】



映画監督
つとみ やましただ
堤 幸彦氏



批評家・随筆家
わかまつ えいすけ
若松 英輔氏



岩手大学教育学部教授
むぎくら てつ
麥倉 哲氏



本学教養学部教授
かねびし きよし
金菱 清氏

【コーディネーター】



- JR「仙台駅」から徒歩20分
- 地下鉄南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩5分
- バス停「五橋駅」から徒歩5分



映画監督
つとみ やましただ
堤 幸彦氏

kesenuma,Voices4. 東日本大震災復興特別企画「2014 堤幸彦の記録」上映



1955年、愛知県生まれ。1988年オムニバス作品「バカヤロー! 私、怒ってます」で劇場映画デビュー。ドラマ「金田一少年の事件簿」、「ケイゾク」、「池袋ウエストゲートパーク」、「トリック」シリーズ、映画「20世紀少年」3部作等のヒット作を通じ、スタイリッシュな演出と独自の笑いで「堤色」というべき世界を確立、不動の人気を得る一方、「明日の記憶」や「MY HOUSE」などの社会派作品も手がける。また、映像演出の他にも、『悼む人』(2012年)や、『真田十勇士』(2014年)など、舞台演出も精力的に行っている。そして、2015年には映画「天空の蜂」(松竹系)で「第40回記念報知映画賞 監督賞」を受賞。現在は日本テレビ系連続ドラマ「日暮旅人」放送中!!